

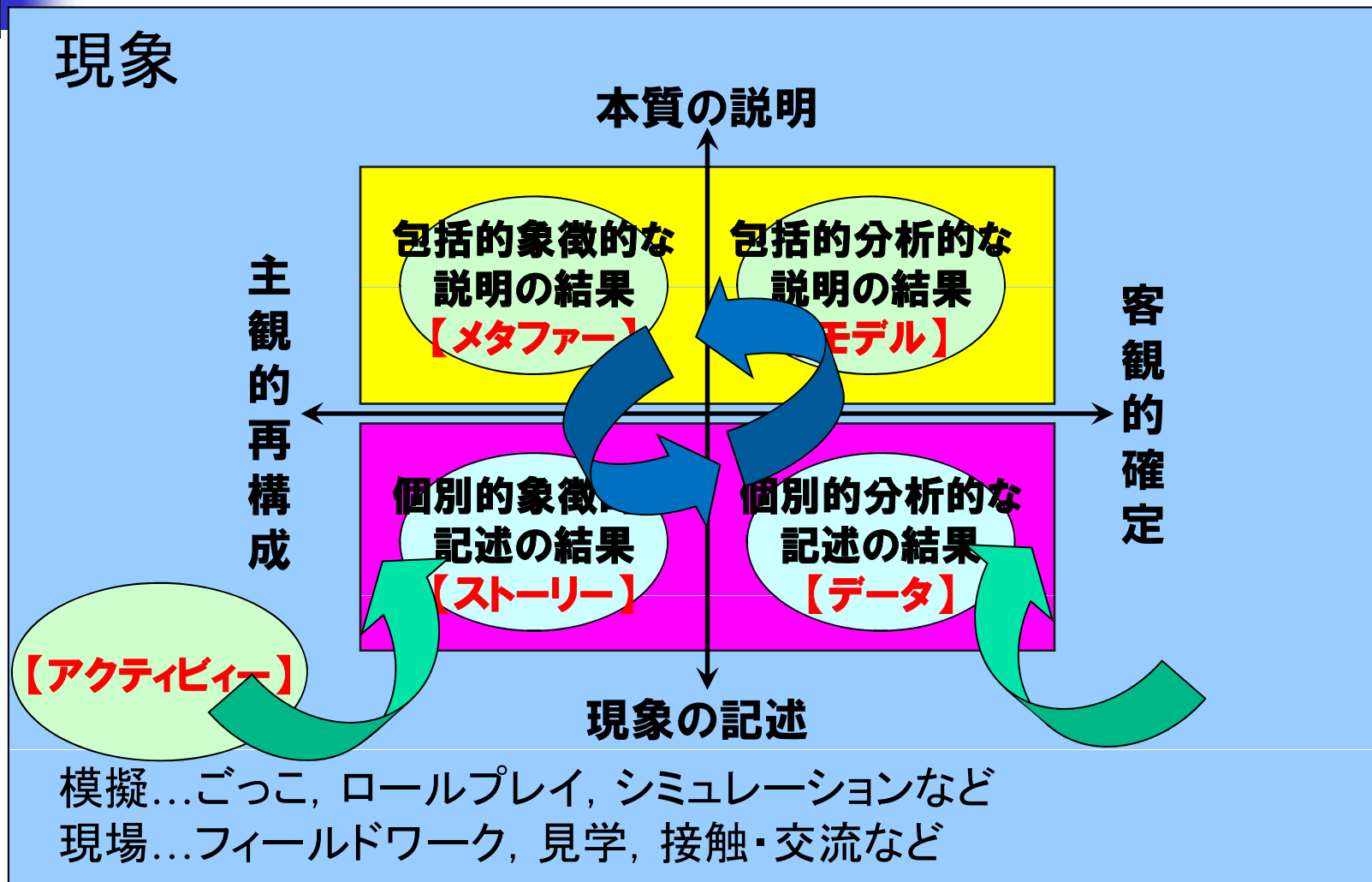
# 地理教育方法・評価 演習



---

## 第7講 記述的教材を媒介にした授業開発(1) —日本のODAを手がかりに—

# I 記述的教材の位置づけ



## II 記述的教材の特質

### 認識主体と現実世界との媒体

子どもに代わって**他者＝記録者**が経験した対象世界の事実をリアルに再現した資料

(ただし記録者の問題関心から選ばれた事実が描かれる)

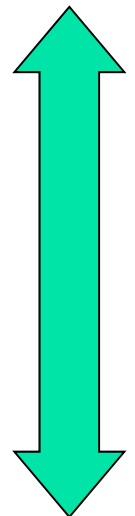
### ■ 記録者が価値判断を投入して事実を再構成

- **日記**...文字で事実を物語る
- **絵・写真・映画**...映像とナレーションで事実を物語る

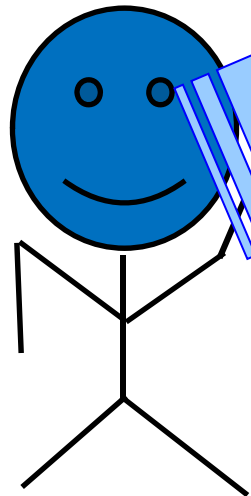
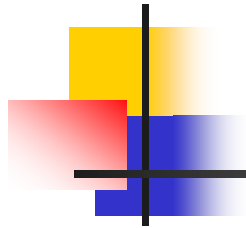
### ■ 記録者が価値判断を棚上げして事実を再現

- **記事**...文字で事実を複眼的に記録する
- **地図・グラフ**...文字と数字で事実を論理的に記録する

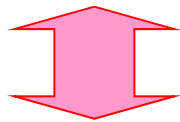
主観的



間主観的



教育内容



教材

過去の, 他所の, 目の前の  
社会(らしきもの)

問題は, この黄色の部分を  
どのように教材として変換するか!  
→ **記述的教材**とは, 他者が経験した対象  
世界をMedia/Material化したもの

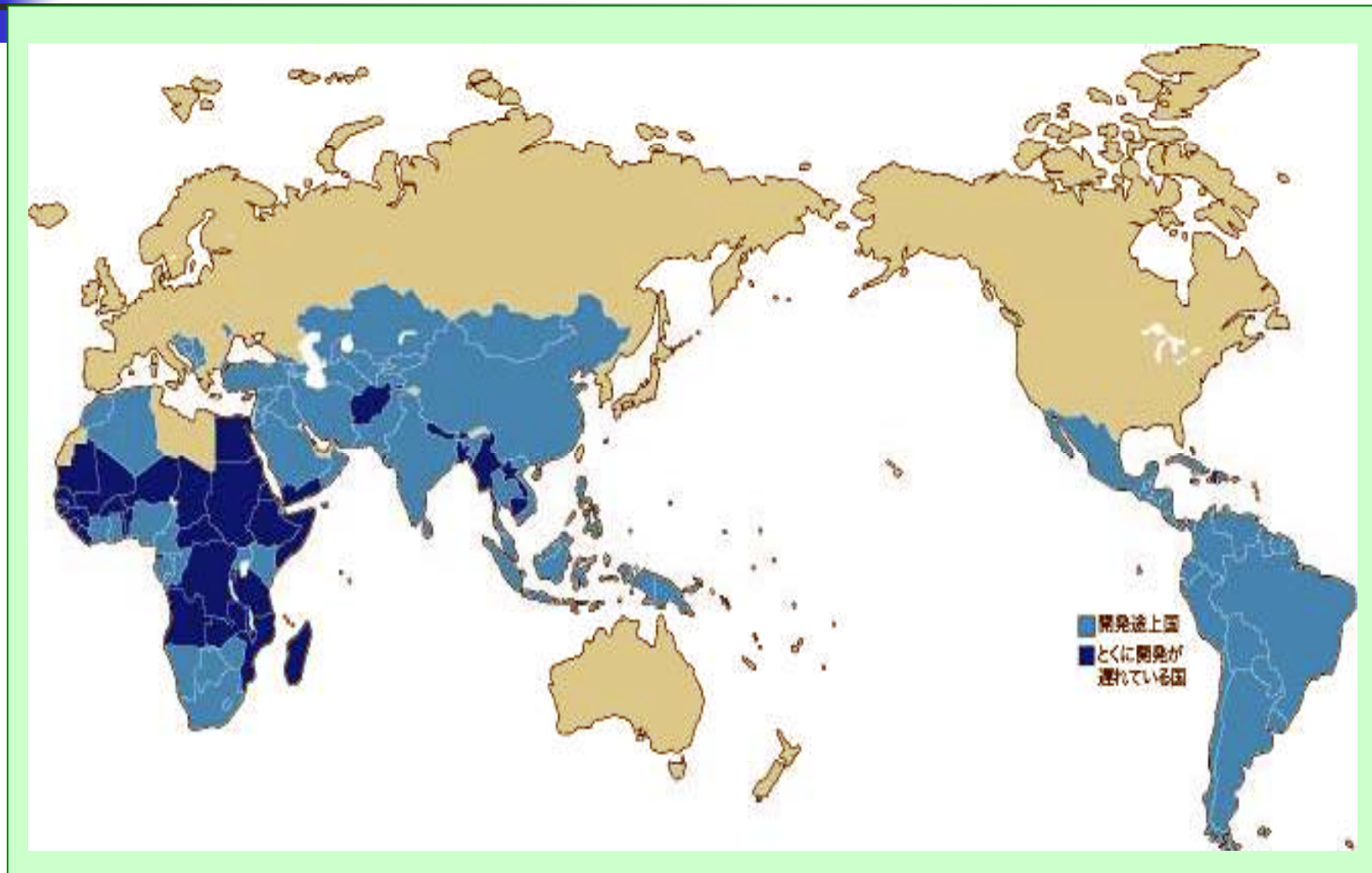


## 【本日の課題】

「地図」「グラフ」「新聞記事・写真」を素材にして、  
MQ「なぜ日本政府は外国を支援するのか？」に迫る  
3つの発問を考えよう→カードに記入。

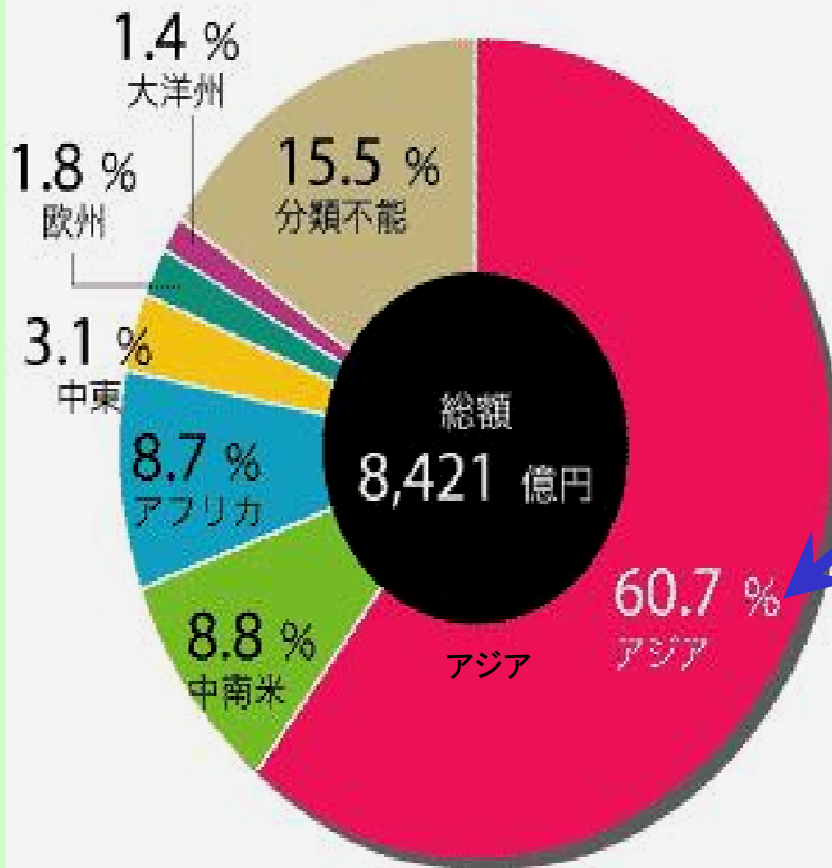
1. A班： 地図...教材1「低開発国の国々」
2. B班： グラフ...教材2「日本のODAの地域配分」
3. C班： グラフ...教材3「インドネシアの対日貿易品」
4. D・E班： 記事...教材4「ODAダムで国の責任を否定」
5. F班： 複数の教材を関連付けて

# 教材 1 低開発国(LDC)の国々

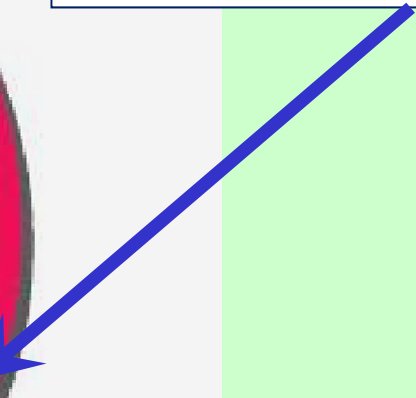


## 教材 2 日本のODAの地域配分

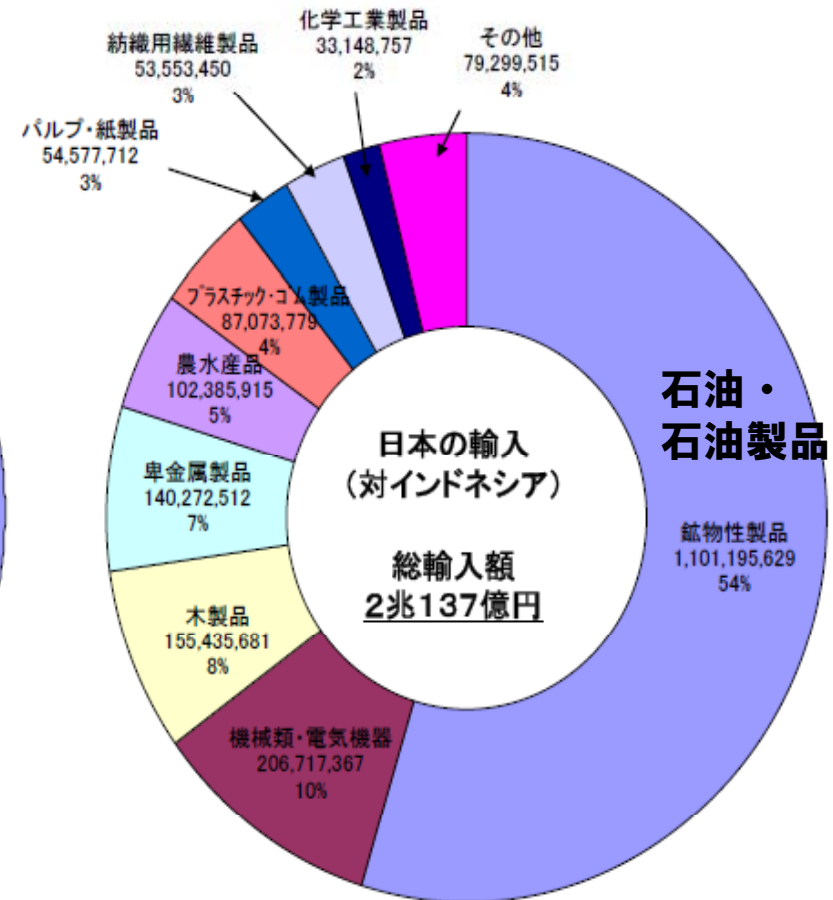
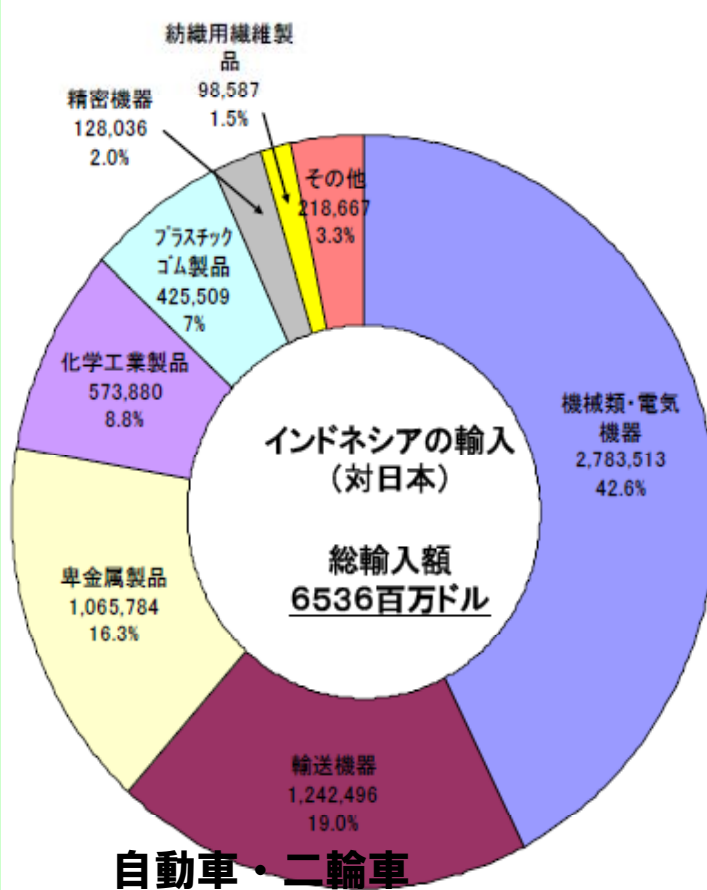
日本の二国間ODA地域別配分 (2002年支出純)



- 1 \_\_\_\_\_ (19.0%)
- 2 中国 (12.6%)
- 3 フィリピン (8.8%)



# 教材3 インドネシアの対日貿易品 (左：輸入，右輸出)





## 教材4 ODAダムで国の責任を否定 (産経ニュース：2009年9月10日)

### インドネシア住民ら敗訴 ODAダムで国の責任を否定

日本の政府開発援助(ODA)でインドネシアに建設された多目的ダムをめぐり、8396人の現地住民らが移住を強制されたとして国や国際協力機構(JICA)などに1人当たり500万円の損害賠償などを求めた訴訟の判決で、東京地裁は10日、請求を全面的に退けた。

ODAに絡んだ現地トラブルに日本政府が責任を負うかどうか最大の争点だったが、中村也寸志裁判長は「インドネシアの内政問題であって、日本政府などが現地住民らに注意義務を負うものではない」と判断した。原告側は控訴する方針。

問題となったのはスマトラ島中部のメランギン村に建設された「コトパンジャン・ダム」で、堤の高さ58メートル、満水時の表面積は約124平方キロ、有効貯水容量は15・45億トン。





# IV 日本のODAの授業構成

## 1 社会現象の原因・目的・意味の解明

MQ「なぜ日本政府は外国に援助するのか？」

- 事実の確定から意味の分析へ：
  - ・ 対象が(世界の途上国ではなく)アジア中心の理由
  - ・ 対象が(貧しい国ではなく)産油国・工業新興国の理由
  - ・ 方法が(歓迎されるだけでなく)批判されている理由
- ODA: 人道主義的な援助論 → 国益優先的な援助論へ

## 2 他者が記述した社会現象を手掛かりに

- 教材1 発展途上国・最貧国の分布...地図作成者
  - 教材2 日本のODAの地域配分...外務省？
  - 教材3 インドネシアの対日貿易...経産省？
  - 教材4 コトパンジャODAダム訴訟...新聞記者
- 間接の記述  
(加工・編集)
- 直接の記述

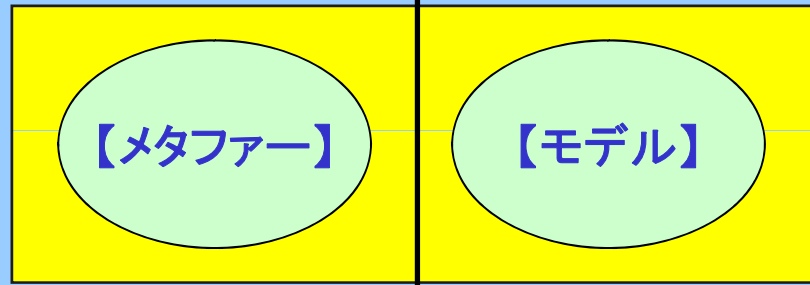
# 発展：意味の構造化or再構成へ

## 意味の構造化・一般化

(関連付けると、まとめると、他時代・他地域では)

意味の再構成

(何を表している→根拠は?)



意味の分析

(どうなっている→原因は?)

## 意味の記録化・個別化

【アクティビティ】  
(どうだった、例えば、その人は・そこは?)



## 【次回の課題】

**「絵本拾遺信長記(石山合戦図)」を使って、記述的教材の特性を考えよう。**

- 1. E・F班：コースパケットの資料を参考に、15分の模擬授業をやってみよう。1人が教師役、他は生徒役。**
- 2. D班：ストーリー型の教材には、共通にある事象が描かれている、それは何か。どのような指示・発問が効果的か？**
- 3. C班：ストーリー型の教材は、授業の導入・展開・終結のどこの位置づけで活用するのが効果的か。それはなぜか？**
- 4. A・B班：1つの教材と複数の教材で授業を展開するときでは、教師の指導にどのような違いが生じるだろう？**